

参加者 175 名、図書館、法廷教室などを見る 神田キャンパス見学会



10号館1階

↑集合場所の10号館3階、黒門ホール。まずは山上剛育友会副会長が参加者に挨拶



↑7号館

学生の案内で"大学を知る"

7月1日(土) 午前に開催された育友会主催の神田キャンパス見学会は、あいにくの雨にもかかわらず、175名のご父母・保護者が参加し、学生の案内で10号館の図書館 Knowledge Base (靖国通り分館)、相馬永胤記念ホール、1号館の法廷教室、学生ホールなどの施設を見学しました。案内をしてくれた学生との会話も弾んだ見学会に、参加者はとても満足の様子でした。



↑10号館最上階の相馬永胤記念ホールは式典やセミナーなどで利用される。眺望も抜群



↑10号館15階グローバルフロアでは留学・国際交流に関する情報を提供している



↑図書館 Knowledge Base (靖国通り分館)。本への興味を喚起し、快適に学修できる環境

←靖国通りに面した16階建ての10号館

普段の大学生活のことなど、参加された皆さんと会話しながら、楽しく案内させていただきました。法廷教室は特に皆さんの反応がよかったです。

商学部4年
吉田篤史さん





↑1号館地下1階法廷教室。全国の大学でも数少ない法廷を模した教室は、模擬裁判などに使われている



↑1号館地下1階の購買会。学生たちで賑わう学生ホールの一角にあり、書籍や文具などを販売している



↑雨に濡れる黒門。かつての校舎にあった冠木門を育友会が2010年に復元した。専大通りに面して建つ専大のシンボル

娘はコロナ禍の入学で、入学式も中止、その後もリモートでの大学生活でした。2年の後期から大学に通うようになりましたが、親としては大学を見たことがありませんでした。もう4年生なので、最後のチャンスと思い参加しました。娘から聞いていた通り10号館は新しく、一息つけるスペースもあちこちあって、勉強しやすい環境だと思いました。

国際コミュニケーション学部
女子の母、父
星野和美さん、達哉さん



↑→キャンパスを見学した後は、10号館7階の学生ラウンジで学食を体験

↓案内してくれた学生スタッフのメンバー。年間を通して、オープンキャンパスでの案内などの活動をしている



→法学部・商学部・国際コミュニケーション学部が学ぶ神田キャンパス



シブコン全67支部で開催

この夏、全国67支部62会場で開催された支部懇談会（シブコン）に1,536名の方が参加されました。昨年まではコロナ禍の影響で開催できなかった支部もあり、全支部での開催は実に4年ぶりです。教職員から直接話を聞き、会員同士の交流も図られた支部懇談会の様子をお伝えします。

東京 ABC 支部合同

8月6日（日）
専修大学神田キャンパス



↑ 挨拶する金子副学長



↑ 受付



↑ 開始前に DVD 上映



↑ 左から小海育友会長、嶋田東京 A 支部長、金子副学長

神田キャンパス 10号館の1階では、東京 A、B、C 各支部のシブコンスタッフが参加者をお出迎え。こちらで受付を済ませた参加者は、3階の黒門ホールへ。会場には育友会が制作した学生の様子を伝える映像が流れ、それを観ながら開始を待つことに。

10時、3支部を代表して東京 A 支部の嶋田慎一支部長が開会の挨拶を述べ、続いて、大学を代表して金子洋之副学長が専修大学が目指す教育について、育友会を代表して小海祐資育友会長が育友会活動について話をされました。

その後、学業、学生生活、就職のテーマごとに大学教職員が講演。学生相談室カウンセラーの光川利恵さんは「今の大学生は親が思う以上に忙しいので、家ではゆっくりとさせてあげてほしい。そして、声をかけてほしい」と家庭での子供への対応について語られました。

支部ごとの昼食会で会員同士の親睦を図り、支部連絡会も実施。午後は個別面談とグループ面談のほか、支部役員のご子女が案内するキャンパス見学会も実施されました。



↑ 昼食会



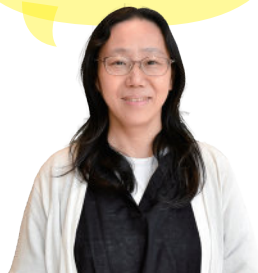
↑ 個人面談



↑ キャンパス見学会

子供から断片的には大学の話を聞いていましたが、先生の話でそれが繋がり、大学全体の様子がよく分かりました。金子副学長が語られた専修大学のこと、データサイエンスの取り組みについても聞いてよかったです。

授業や就職活動のことなど、子供からあまり聞くことがなかったので、とても参考になりました。学生相談室など、親身に相談のしてくれる場所が大学にあるということも分かり、心強く思いました。



経済学部2年男子の母
松本 緑さん



経営学部3年男子の母
程塚真代さん

シブコン
レポート

愛媛支部

8月6日(日)
ホテルマイステイズ松山



育友会副会長 佐々木 愛



↑ 出張教職員と支部役員



↑ 会場の様子

アットホームな支部

愛媛支部に伺いました。会場は松山城を目前に臨むお堀の近く、路面電車が走る姿も見えるとても素敵な場所にあります。

支部懇談会には9名の現役育友会員と6名のOB会員がご参加くださいました。会が始まる前から、会員同士がお話しされている様子が見受けられ、とてもアットホームな雰囲気で懇談会が始まりました。DVDでの佐々木重人学長の挨拶と大学紹介、長尾謙吉経済学部教授による学業と大学生活についてのお話、閑念文博キャリアセンター事務部長によるキャリア・就職についてのお話へと会は進んでいき、午前中最後のプログラムでは、愛媛県で若年者の就職を支援

しているジョブカフェ「愛 work」からキャリアコンサルタントをお招きして、愛媛のUターン就職ガイダンスをしていただきました。ガイダンスの中で、愛媛の就職は4年生の秋頃に採用のピークを迎えるという説明があり、地域によって就職活動のパターンが異なることを初めて知りました。

午後のプログラムは、昼食と面談でしたが、円卓を囲んでの昼食の際にも、面談の順番の待ち時間にも、それぞれの円卓で会話が弾み、会場は終始明るく和やかな空気に包まれていました。本部役員として出席した私も、愛媛支部の皆様とたくさんお話をさせていただいて、とても楽しい時を過ごしました。

静岡（静岡）支部

8月19日（土）
ホテルグランヒルズ静岡



↑ 講演する法学部長の田邊教授



↑ 受付



↑ 開会の挨拶を述べる石田支部長



↑ 学生生活について講演する福原康司経営学部教授



↑ 個人面談



↑ 1年生ご父母・保護者のグループ面談

43名が参加した静岡（静岡）支部の支部懇談会。まずは石田陽子支部長が挨拶を述べ、それに続き、大学を代表して法学部長の田邊宏康教授が大学のガバナンスについて語りました。

その後、学業、学生生活、就職活動について大学教員が講演。学業について講演した出岡宏文学部教授は、履修登録の思い違いで卒業できなかった学生の事例も紹介し、単位修得についての注意を促しました。

また大学卒業後は地元に戻ってきたいと望むご父母も少なくないことを考慮し、静岡県労働雇用政策課の仁科孝文さんによるUターン就職に関する講演も実施。静岡県で働くことのメリットや県内企業が参加する就活イベントが紹介されました。

昼食会を挟み、午後は個人面談と1年生のご父母・保護者によるグループ面談を実施。グループ面談には学生2名も参加し、大学生活についてご父母からのいろいろな質問に答えました。



↑出張教職員と支部役員

専修大学は様々な施設や学生に対するサポートが充実していることが分かりました。息子は来年から社会人としてスタートしますが、卒業までの時間を充実して過ごし、きちんと卒業してほしいと思います。



経営学部4年男子の母
飯塚美乃さん

長男が入学し、あっという間に夏休みに。親として大学のことを知っておきたいと思い参加しました。就職活動は私たちの時代とはだいぶ違い、前倒しで動いた方がいいということに衝撃を受けました。息子に伝えたいと思います。



国際コミュニケーション学部1年男子の母
吉田千恵さん

シブコン
レポート

苫小牧・札幌支部合同

8月20日(日)
ホテル札幌ガーデンパレス



育友会副会長 山上 剛



↑受付



↑出張教職員と支部役員

会話が弾み、 教職員へ気軽に質問

苫小牧・札幌支部合同支部懇談会に参加させていただきました。ご参加されたのはほとんどが1・2年の学生のご父母・保護者で、教職員の先生方からご説明いただいた、学業や学生生活、キャリア形成・就職支援等のお話を熱心に聞かれました。

また、平成29年に専修大学法学部をご卒業され、現在、株式会社マイナビ北海道営業統括部の宮下和輝様より北海道の就職動向についてご説明いただきました。お子様が将来の就職活動を行うにあたって、大変参考になったと思います。

個人面談を行う前に一旦、お昼休憩となりましたが、各テーブル、ご父母・保護者4、5人に対し、教職員の先生1人が入りましたので、お食事をしながら先生方に気軽に質問や相談ができたようです。各テーブル



↑会場の様子

とも会話が弾んで、とてもよい雰囲気でした。

親元を離れて一人暮らしをしているお子様がほとんどになりますので、一人暮らしによってたくましくなったお子様の状況をうかがって、とてもうらやましく感じました。

今回、制約のない支部懇談会を開催することができましたので、次年度以降も今回のような支部懇談会を開催することで、先生方や会員同士の親睦を深めていければと思います。